

第2回学校運営協議会開催 7月10日(金)

『熟議』が行われました

今年度第2回目となる学校運営協議会が陵東中学校で開催されました。今回は、地域の未来を担う「子どもたちにどのような力を身につけてほしいか」、そのために「学校や地域ができることはどのようなことか」について『熟議(熟慮と議論)』を行いました。

話し合いに先立って、「国や社会についての18歳意識調査結果」(日本財団)や「寒河江市の人口動向」、「(昨年度の)陵東中3年生のアンケート調査結果」(H31全国学力・学習状況調査)、政府広報「ソサエティ5.0」の動画視聴

等で、子どもたちの実態や取り巻く環境について確認しました。

今回は3つのグループに分かれて話し合いを行いました。保護者、地域住民、地域の高校、地域の企業、中学校職員それぞれの立場から、地域の未来を担う子どもたちについて活発に意見が交わされました。



子どもたちを取り巻く環境・課題…(一部抜粋)

- ・自分で考える時間や機会が少ない
- ・自分を表現する力が足りない
- ・自己肯定感が低い
- ・失敗を恐れすぎる傾向がある
- ・効率よく答えを出そうとするので、行動して体験することをしない
- ・小学生の時から自分のスマホを持っている ⇒ 子どもに入る情報を大人がコントロールできない
- ・テレビやインターネットなどのメディアから膨大な情報を浴び続けている ⇒ 考える力が衰える
- ・(コロナの影響で)人とのふれ合いが失われている、地域活動に対する制約が出てきている
- ・あいさつしたり、声をかけたりすると不審者と思われるのでは… ⇒ あいさつ、声かけができない

子どもたちに身につけてほしい力は…

- ・自分の頭で考えて行動する力
- ・人を思いやる心
- ・いろいろな人たちと関わる力(社会性)
- ・自分を表現する力
- ・乗り越える力
- ・情報を選択する力
- ・(動画でなく)文章を読み解く力
- ・地域の一員としての自覚、地域に貢献する態度



そのために…(一部抜粋) ※今後、だれがどのように進めていくか話し合っていきます。

- ・自分たちで考え、話し合う場を家庭でも、学校でもつくる=子どもたちを信じて任せる
- ・情報を取捨選択する学習をする
- ・多様な本に出会う機会をつくる
- ・(今はコロナで難しいが…)地域の方々との交流の機会をつくる(木曜塾、カルチャークラブ…)
- ・地域の魅力を伝える
- ・大人が寒河江の魅力を知る機会・場所をつくる
- ・陵東中総合学習「未来の担い手育成プログラム」(地域企業との連携プログラム)を進めていく
- ・「山形大学イノベーションプログラム」への参加 中学→高校→大学→社会につながる …など